

高校生のみなさん、こんにちは！運動栄養学科通信をご覧頂きありがとうございます。今回は、仙台大学運動栄養学科卒業後の進路について紹介します。



「栄養士」ってなにをする人？

「栄養士」は献立を考えたり、食材の発注をしたり、栄養に関する指導などを行う職業です。学校や病院、保育施設、スポーツ関連施設、企業など活躍の場が多くあります。

昨年(令和元年度)に運動栄養学科を卒業し、現在は栄養士として活躍している先輩方にインタビューをしてみました！



保育施設で働く栄養士！ 令和元年度卒業生 佐々木栞那さん



Q.なぜ仙台大学を選びましたか？

自分自身が小学生から高校生までスポーツをやっていたこと、食べることが好きなこと、この2つの関連性に興味を持ち、自分の経験を踏まえたうえで将来に役立てたいと思ったからです。
また、当時スポーツ栄養について学べる唯一の大学が仙台大学でした。

Q.大学時代の思い出は何ですか？

大学生活の中だけでなく、アルバイトなど多くの場で人と関わる機会が増え、学ぶことがたくさんありました。学生時代にしか経験できない楽しさや時間があるため、プライベートの時間も大切にしてください。

Q.大学時代の経験はどんな時に活かせていますか？

大学祭のときに補助学生として、地域の子供たちとパン作りなどをした経験が今に活かれています。子どもたちとのコミュニケーションの取り方や、保護者の皆様との関わり方など、学生時代のうちに経験できてよかったなと思います。

Q.栄養士としてのやりがいは何ですか？

園では月に1回、3～5歳児が各クラスごとにクッキングをする時間があります。成長段階に応じたメニュー考案、アレルギー食や宗教食を考慮した発注業務など大変なこともありますが、子どもたちから「楽しみにしてる！」、「美味しかったよ！」、「お野菜食べられたよ！」などと声をかけられると、その子にとっての食経験を増やすことができたというやりがいを感じます。



介護福祉施設で働く栄養士！ 令和元年度卒業生 大友秀哉さん



Q.栄養士を目指したきっかけは何ですか？

高校時代、部活動の中で栄養士の方の講演を聞く機会があり、運動と栄養の結び付きを学ぶことができ、自分もこのように様々な人に対して栄養の大切さを伝えたいと思い、栄養士を目指しました。

Q.仙台大学を選んでよかったなと思うところはありますか？

授業の中で実際に献立や調理の手順を考えたり、食材の発注などを自分たちで行った事はとても良い経験になったと言えます。また、運動と栄養の関連性など仙台大学でしか学ぶことのできないことも多くあり、仙台大学を選んでよかったなと思います。

Q.現在の仕事内容を教えてください！

栄養士として、介護福祉施設で食材の発注や食数管理、事務作業、調理などを行っています。行事食などを成功させ、利用者の皆様が喜んでいただけた時はやりがいを感じました。



Q. 高校生の皆さんへメッセージをお願いします！

自分が将来何をしたいのかをよく考え、早めに準備することが後々自分のためになると思います。
焦って「とりあえず何でもいいから就職しよう…」ではなく、本当にやりたいことを見つけてください。
大変な時期ではありますが、一緒に頑張りましょう！



先輩方のインタビューを参考に皆さんも仙台大学運動栄養学科に興味を持ってくれたら嬉しいです☺